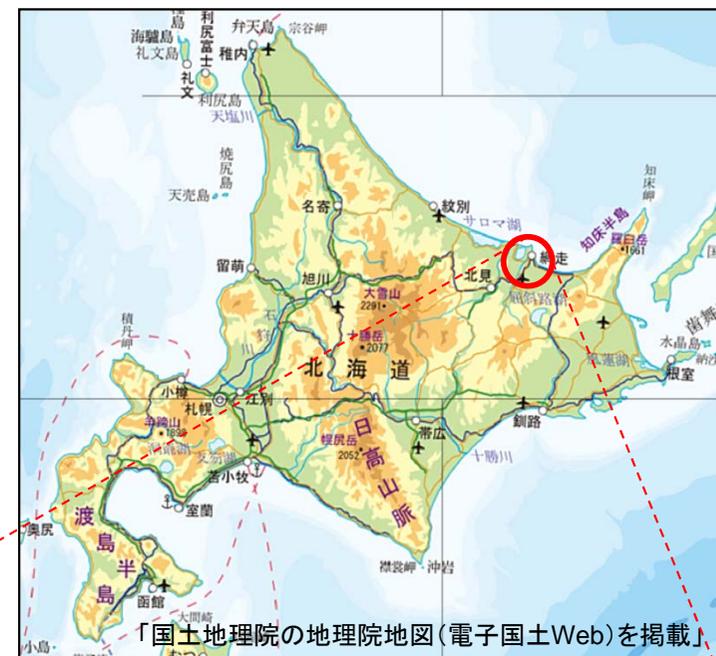


平成29年度 土木学会選奨土木遺産認定
「一般国道39号網走市 網走橋」

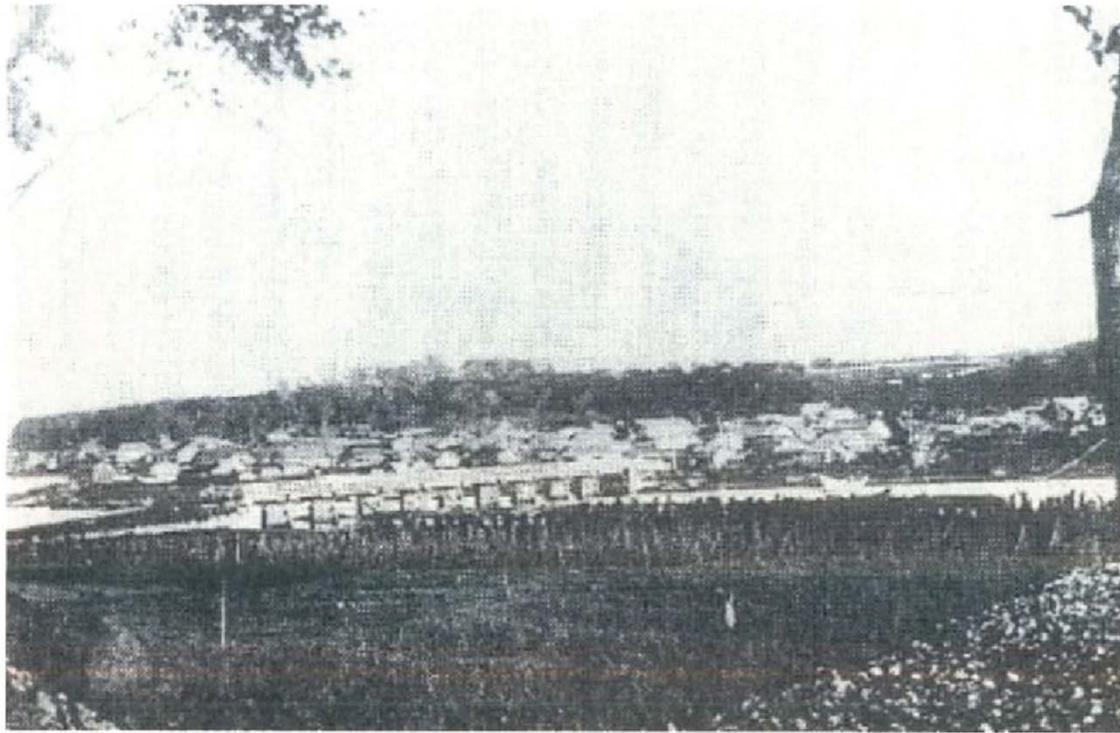
国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部
道路防災推進官 皆川 昌樹

「網走橋」の概要

名称	一般国道39号「網走橋」
橋長	L=101.50m
幅員	W= 18.00m(拡幅前 11.00m)
竣工年	1934(昭和9)年 拡幅：1974(昭和49)年
橋梁形式	3径間ゲルバー-鈹桁
所在	北海道網走市
管理者	北海道開発局 網走開発建設部



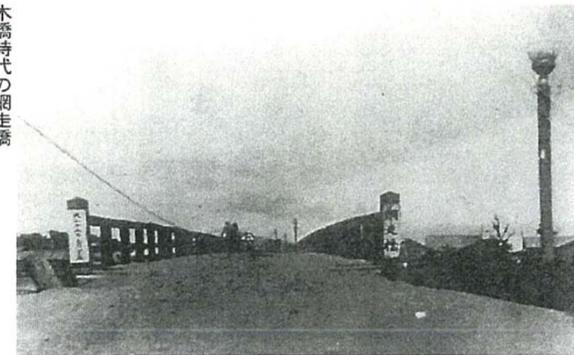
- 北海道の北部海岸地方を連絡する上での難所であった網走市の網走川の最下流に架かる橋梁。明治23年に簡易的な木橋が架けられ、大正5年に本格的な橋梁として木橋で架けられた



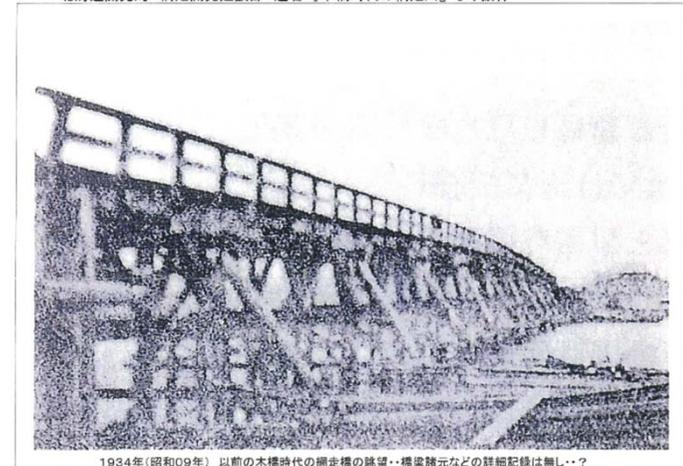
1890年(明治23年)に「網走橋の架橋工事竣工。外泊所に舟で物資を運ぶため、陸地と同じ高さであった木橋を三尺高くした」
本格的な橋梁は、大正5年に木橋、昭和9年に鋼製の永久橋、昭和49年に車道・歩道の拡幅工事完了・・「網走刑務所百年史」

『網走百話』 秘められた庶民の歴史

木橋時代の網走橋



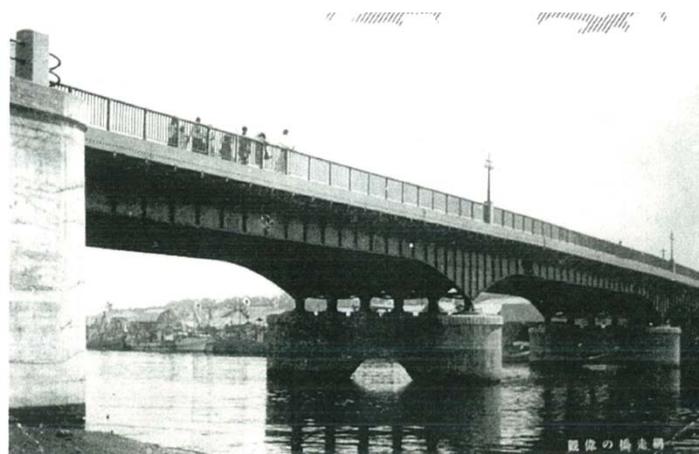
05.『網走川治水史』 其二
北海道開発局 網走開発建設部 題名『木橋時代の網走川』より抜粋



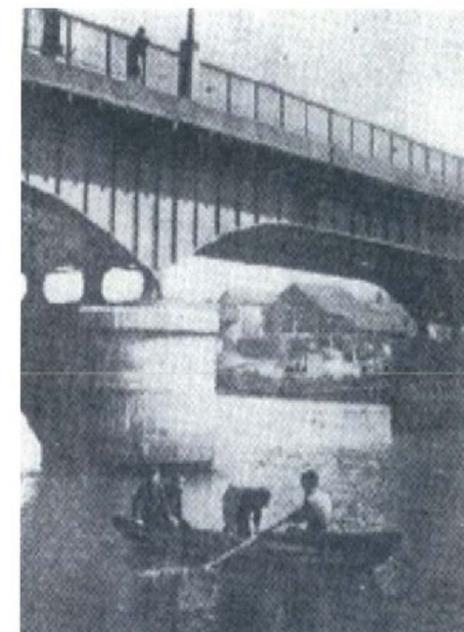
1934年(昭和09年) 以前の木橋時代の網走橋の眺望・橋梁諸元などの詳細記録は無し・・・?

●右岸の旧市街は背後が丘陵で狭隘であり、昭和にかけて左岸に市街地が拡大し、木橋の損傷も著しくなり、オホーツク地域初の永久橋として**1934(昭和9)年に3径間ゲルバー鋼桁橋で架設された。**

●第二次世界大戦では網走橋が標的となって襲撃されたが命中せず、戦後も国道39号の橋梁として供用され続けた。



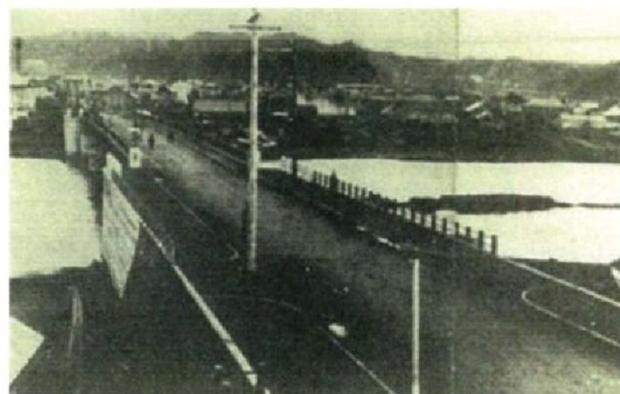
完成間もない『網走橋』 1934年(昭和9年度)完成、網走川左岸・上流側からの網走橋・網走港の眺望・・・



網走中学校のカッターは憧れの的・・・！ 昭和15年頃・・・？



1934年(昭和9年)に3径間・鋼製ゲルバー橋が完成



旧・網走橋の路面状況 中州が見える 昭和10年・・・？



拡幅以前の旧・網走橋の親柱と橋詰・・・昭和34年頃・・・？

● 1974年には交通量の増大に応じて、**両側に3.5mの拡幅**が行われた。拡幅に際してはオリジナルのゲルバー桁と同様の断面で外桁が追加されたため、**建設時の外観をほとんど損なうことなく**現在に至っている。

● 現役の国道橋として適時、補修補強が実施されており、橋梁点検でも健全性が確認されている。**北海道内に現存する道路橋**としては、旭橋(旭川市、1932年)、張碓橋(小樽市、1933年)に次ぐ**3番目に古い橋**である。

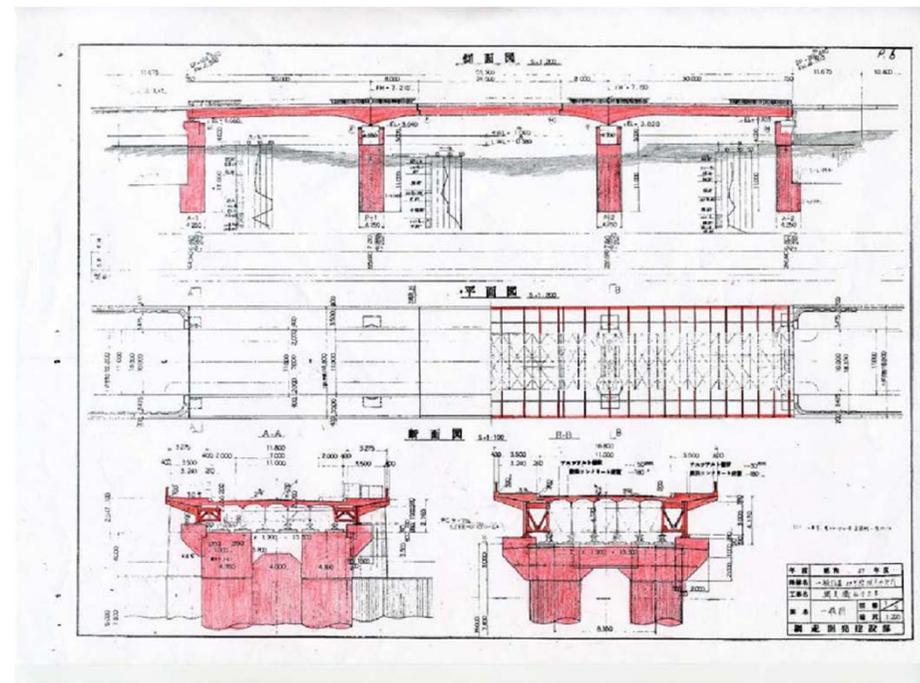


図2 網走橋一般図(拡幅時)



「網走橋」の歴史

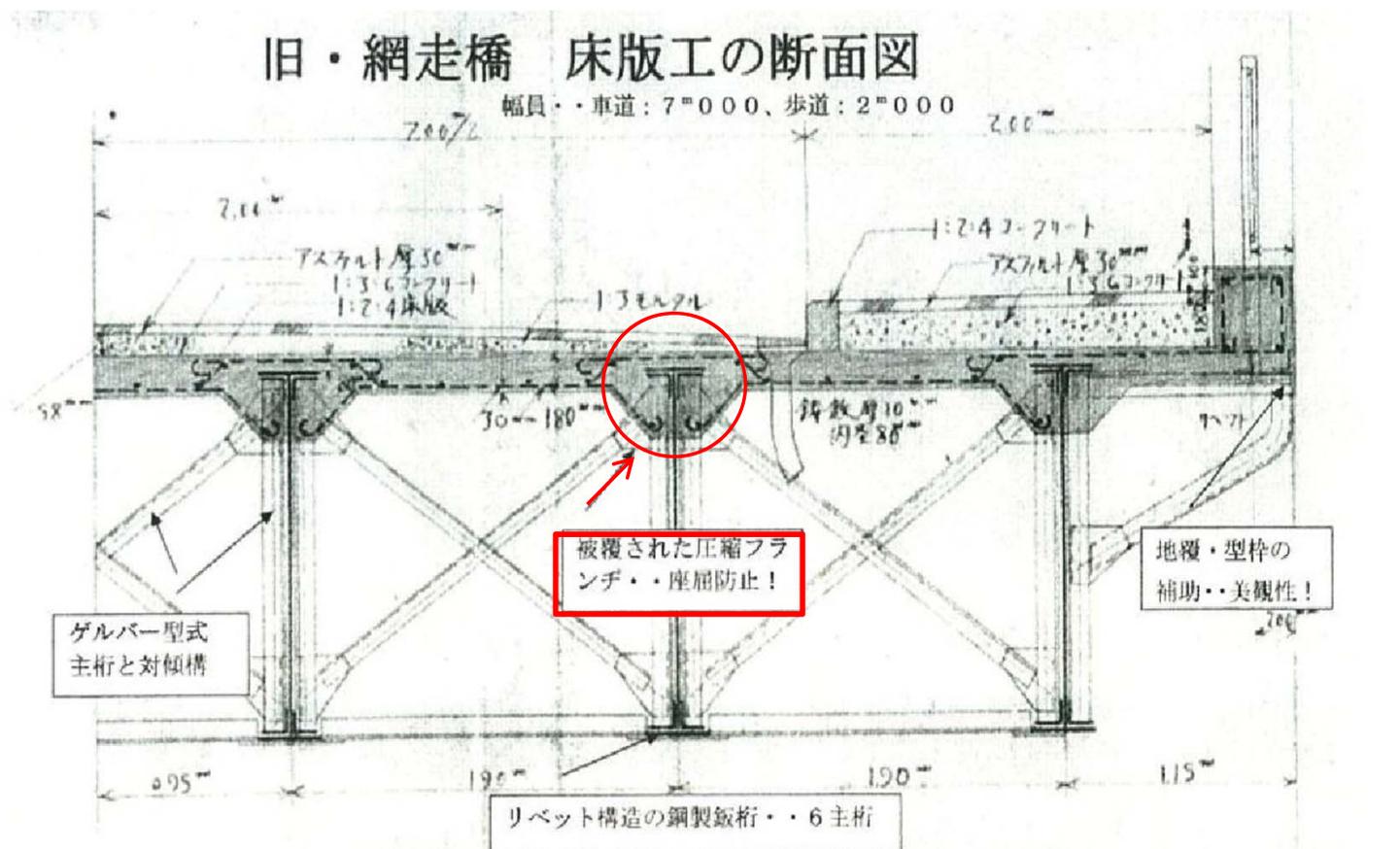


施工年度:旧網走橋・・1934年(昭和09年)、新網走橋・・1974年(昭和49年) 車道・歩道の拡幅工事



発注者:北海道開発局・網走開発建設部、設計者:北海道開発コンサルタントkk、製作・架設:kk函館ドック

- 床版内に上フランジが埋め込まれている。
(局部座屈の防止、桁高の抑制)

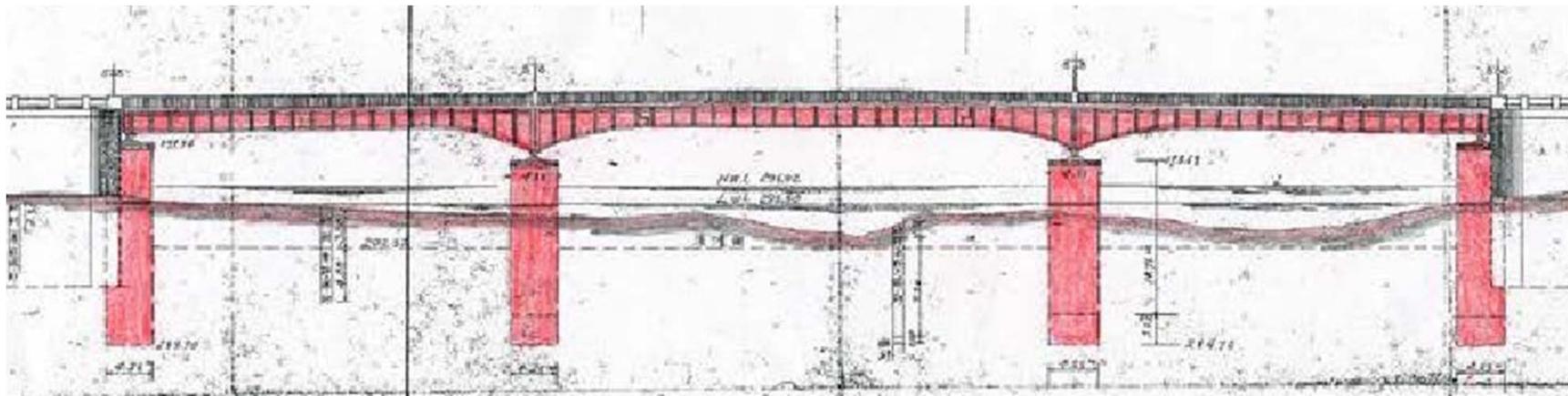


旧・網走橋の特徴・主桁と床版の合成構造(圧縮フランジの座屈防止・!)

* 構造特徴・合成桁でないのに床版の中に上フランジが入っている・上フランジの座屈防止、横構の省略による鋼材の節約・?

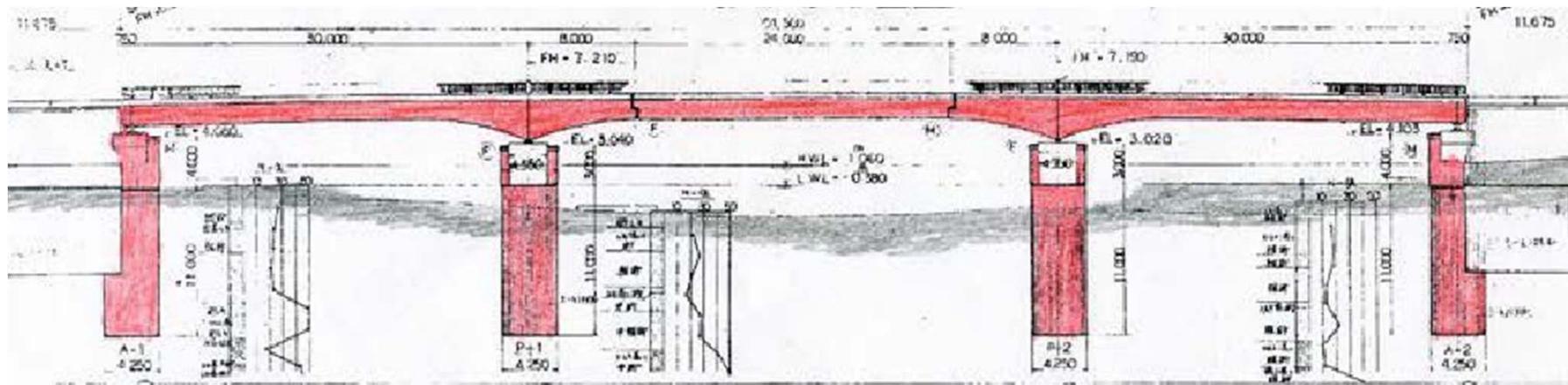
- ・ オリジナルを最大限に生かした拡幅

昭和9年
架設時



↓ 外観を損なう事なく拡幅

昭和49年
拡幅時

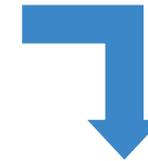
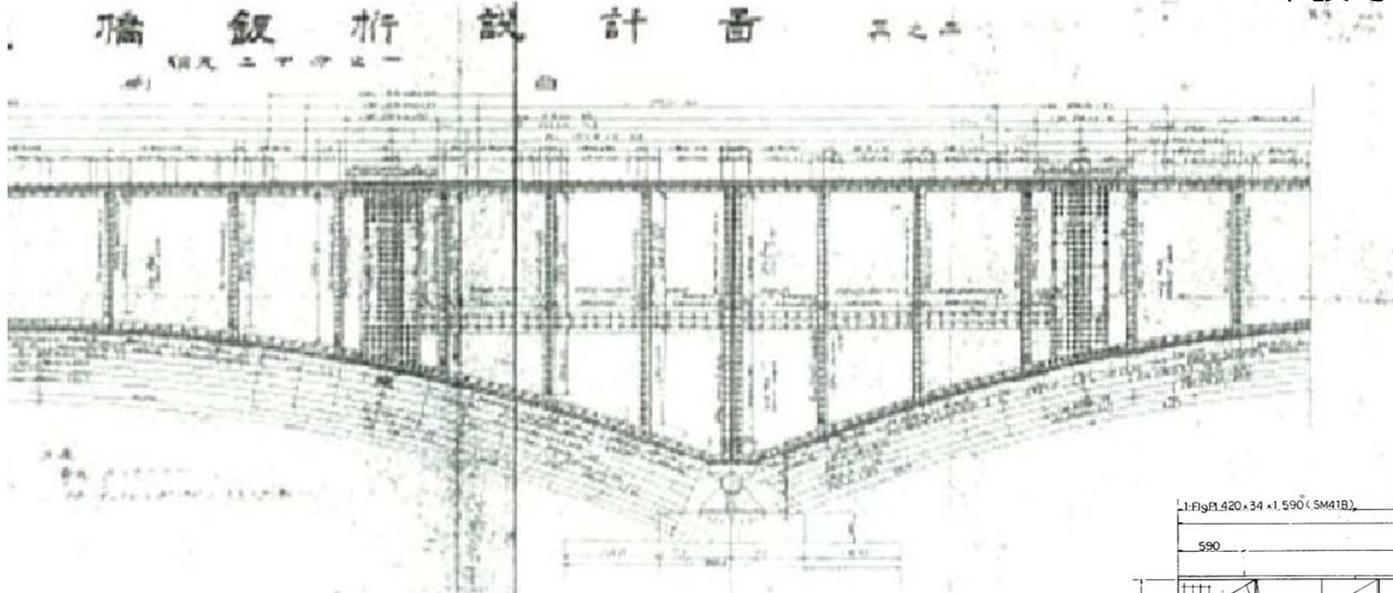


「網走橋」の技術的特徴・意匠的特徴

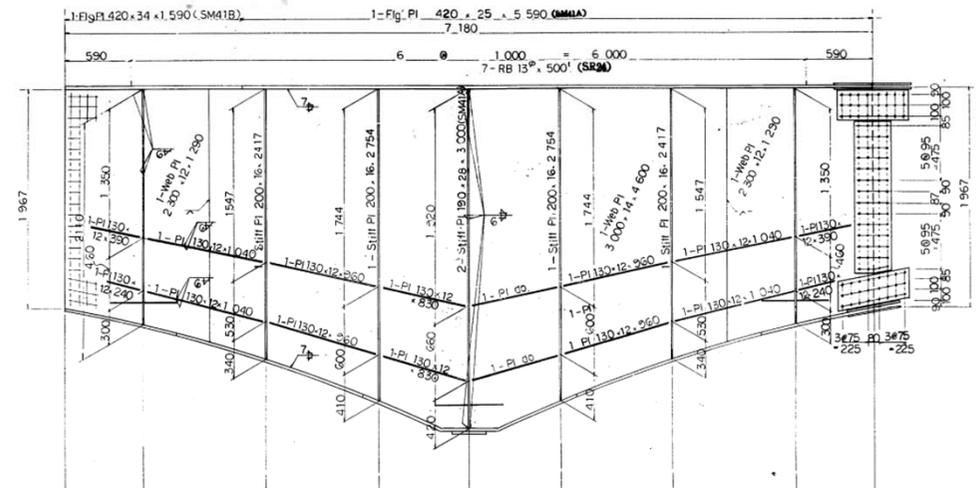
【技術的特徴】【意匠的特徴】

- ・オリジナルを最大限に生かした拡幅

昭和9年
架設時



昭和49年
拡幅時





●地域の方たちによるボランティア清掃活動や花のプランター設置の美化活動等のご協力のもと、今後も地域と一体となって維持管理に努めていきます。

市内の南建設（松本 俊広社長）が20日、地域美化活動の一環として市内の網走橋の欄干に花のプランターを取り付けた。

橋を渡る市民やドライバーに喜んでもらうため、今年で14年目。今年も社員やその家族など、約30人が参加した。

社屋前に集まった社員は網走橋に移動し、作業を始めた。橋の歩道や緑石付近、欄干などを清掃した後、プランターの鉢植えを上下2列、50ほどの間隔で植えていった。

社員の子どもたちも取り付け作業をお手伝い。最初は教わりながら針金で欄干に取り付けていたが、慣れてくると手際も良くなり、花の色やバランスを考えたたりと、楽しみながら作業していた。

この日は約500個のプランターを取り付けた。作業の後は、新橋下流右岸にある親水護岸を清掃した。

網走橋の欄干に設置されたプランターは市民にも定着、可憐な花々が生み出す「潤い空間」は観光客にも好評で、手入れをしていると「きれいですね」と声をかけられたり、外国人観光客がプランターをバックに写真を撮ることも多いという。

同社は、今後も鉢に水を与えるなど、数日おきの手入れを続けるほか、夏に向けて少しずつ花の種類を変えていく予定という。

網走橋が花の回廊に 南建設 欄干にプランター設置

網走橋の欄干に設置されたプランターは市民にも定着、可憐な花々が生み出す「潤い空間」は観光客にも好評で、手入れをしていると「きれいですね」と声をかけられたり、外国人観光客がプランターをバックに写真を撮ることも多いという。



網走橋の欄干にプランターを取り付ける南建設の社員や家族
………
よう、時期をずらして取り付ける。
(伊藤)

まちの橋 冬アカー掃



副理事長（左）ら網走信金の役員がまち中のメインストリートで清掃した（中央橋）

網走信金（伴道弘理事長）は20日、地域社会貢献事業の一環として、同信金は毎年、ボランティアの清掃活動を行っている。今年も多くの職員や役員ら約70人が早朝から清掃活動に汗を流した。

職員らは道路脇と橋清掃班に分かれて作業に入り、両橋の歩道脇に生える雑草を一本一本抜き取り、たばこの吸い殻や空き缶などを拾った。

欄干やモニユメントも1つ1つ丁寧に水洗いして、橋をピカピカに磨き上げた。同信金は日常的に本

この日は市内本店の職員や役員ら約70人が早朝から清掃活動に汗を流した。職員らは道路脇と橋清掃班に分かれて作業に入り、両橋の歩道脇に生える雑草を一本一本抜き取り、たばこの吸い殻や空き缶などを拾った。

極的に参加している。伴理事長は「地域の皆さまへの感謝の気持ちを込め、今年も市内店と本部の役員が参加した。寄り添う気持ちを大切に、これからも地域貢献を続けたい」と額に汗を浮かべていた。
(今村)

網走信金役員が汗 恒例のボランティア清掃

- 現在、網走川を中心として地域の活性化を図る**網走かわまちづくり計画**が推進され、網走橋周辺でもより親しみやすい河川空間の再構築が検討されている。
- この計画には、**網走橋の左岸橋台背面にボックスカルバートを新設**し上下流間のアクセスを改善する計画も含まれており、将来はさらに**網走橋とその周辺空間が市民に親しまれる空間**になることが期待される。

- 以上のように、網走橋は**当初の建設の経緯**、その後83年間にわたる管理者や**関係者の保全に関する努力**に加え、将来における**魅力ある土木空間の創出**が期待される、地域において**“重要な土木遺産”**である。



写真3 「網走かわまちづくり」案内板

「北海道かけ橋カード」について

- 北海道道路メンテナンス会議※は、道路インフラの現状や老朽化対策の必要性に関し、国民の皆様理解を深めていただくため、これまで、橋の長寿記念イベントやパネル展、現場見学会等の取組を実施。
- この度、本取組の一環として、橋のメンテナンスに関する理解を促進することを目的に「北海道かけ橋カード」を発行。
- 北海道道路メンテナンス会議が企画・監修し、北海道開発局、北海道、札幌市、東日本高速道路(株)北海道支社が管理する橋をカード化（長寿命の橋を地域が被らないように選定）。
- カードを通じて、維持管理に関して留意していることや安全を保つために務めていることなどを発信。

※北海道道路メンテナンス会議は、道路法第28条の2の規定に基づき、北海道内の道路管理を効果的に行うため、各道路管理者が相互に連絡調整及び協議を行うことにより、円滑な道路管理の促進を図ることを目的にH26に設立。メンバーは、北海道開発局、北海道、札幌市、東日本高速道路(株)北海道支社。

▼カードのイメージ



【表面】

No.3 旭橋

所在地: 旭川市常盤通3丁目
管理者: 国土交通省 北海道開発局
竣工年: 昭和7年11月(84歳 2017.9月時点)
橋長: 226.0m
種類: アーチ橋

橋の紹介
旭橋は完成から80年以上経過した現在も当時と変わらない姿を保っており、現役で使われている橋としては北海道で最も古い橋です。美しい景観を備えた歴史的土木建造物であることが評価され、平成16年には北海道遺産に選定されました。

こんなふうに維持管理しています
旭橋は、錆による腐食を予防し長寿命化を図る目的から、これまで8回塗装の塗り替えを行いました。点検により橋台にひび割れが発見された際には、交通量が多く規制ができないため、橋を1cmだけ持ち上げ80年間橋を支え続けてきた部材の取り替えをしました。

企画・監修 北海道道路メンテナンス会議
平成29年9月発行

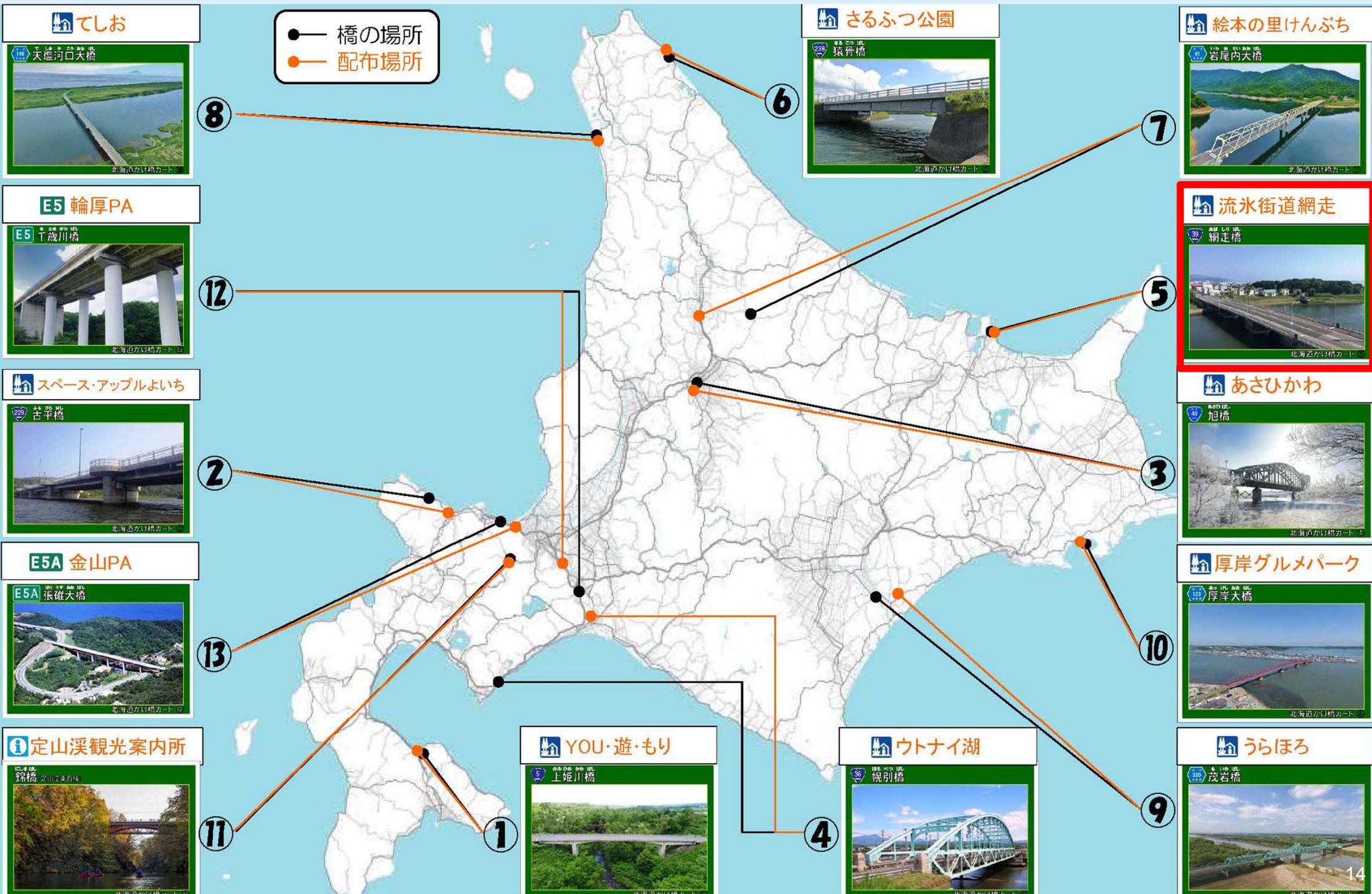
【裏面】

配布場所等が示されたHPへ案内。

橋のエピソード等を紹介。

日常メンテナンス、定期点検、修繕等について紹介。

「北海道かけ橋カード」 橋の場所と配布箇所



39
あはしりばし
網走橋



北海道かけ橋カード ⑤

No.5 網走橋

QR

所在地: 網走市北1条東1丁目
管理者: 国土交通省 北海道開発局
竣工年: 昭和9年5月(83歳 2017.9月時点)
橋長: 101.5m
種類: ゲルバー鋼桁橋



網走橋(網走市)

橋の紹介

網走川に架かる網走橋はオホーツク管内で最も古い橋梁で、北海道の国道橋としては旭川市の旭橋に次いで2番目に古い橋梁です。網走市の観光・物流・生活交通の要所として、完成後80年以上を経た現在でも立派にその務めを果たしています。

こんなふうに維持管理しています

網走橋はオホーツク海からの潮風に晒されるため、鋼材部の腐食等に注意し、点検、補修を行っています。地域の方たちも清掃や花のプランターを設置し、維持管理にご協力いただいています。今後も地域と一体となって維持管理に努め、大事に使い続けていきます。

企画・監修 北海道道路メンテナンス会議

平成29年9月2日 発行